

十文字学園女子大学 公開講座

共催：幼児教育学科

これからの保育を考える -子ども主体の保育とは-



子どもが生き生きと豊かな毎日を送ることができる社会は誰もが願うことでしょう。子どもが思い切り遊び、楽しみ、幸福を追求することが保障されている社会で求められる保育とはどのようなものでしょうか？

未来を担う子どもたちの「今」をどのように育んでいくか——世界の保育動向をふまえながらこれからの保育を展望し、子ども主体の保育について、考えていきます。

【プロフィール】

十文字学園女子大学教育人文学部幼児教育学科教授。専門領域は保育学、発達臨床学。生活を基盤とした遊びの展開、乳幼児期からのESD（持続可能な開発のための教育）の在り方に関心。OMEP（世界幼児教育・保育機構）日本委員会会員として世界の保育者と共に子どもの権利擁護とESDの推進に取り組んでいる。

講師：上垣内伸子
(幼児教育学科教授)

日時：2023年8月5日（土）13:30-15:30

会場：十文字学園女子大学 9417教室

定員：150名（先着順） 参加費：無料

【申し込み方法】

7/5(水)から申し込みの受付を開始します。参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。先着順のため、定員になり次第締め切らせていただきます。

- ・電話または専用フォームからお申し込みください。
- ・専用フォームの場合、「受付完了」の返信メールが即時に届きます。その時点で受付完了となります。定員超過の場合は連絡します。

◆アクセス



JR武蔵野線「新座駅」下車、徒歩8分

【申し込み・問い合わせ先】

十文字学園女子大学 地域連携推進課

TEL:048-477-0958（直通） 受付時間：平日9時~17時

URL: <https://www.jumonji-u.ac.jp/contribution/region/lecture/>

専用フォームでのお申し込みはこちらから↓

※同日午前に幼児教育学科主催の幼児教育研修会「保育の基本 これからの保育を考える—子ども主体の意味の問い直し—」を開催します。

公開講座とは異なる受付（事前申込制）となりますので、大学HPにて詳細をご確認ください。



コーディネーター：向井美穂（幼児教育学科教授）・横井紘子（幼児教育学科准教授）・鈴木晴子（幼児教育学科准教授）